

たくふちすらいまん頂ノ古堂

第十二圖解説

すりながる城ノ東南ニ當リテ小丘アリ、たくふちすらいまん (Takhiti Suleiman)
ト稱ス、海拔六千二百六十三英尺ナリト雖モ、すりながる市街ノ地平面ヨリ
ハ九百八十七英尺アルノミ、丘頂ニ石造ノ堂アリ、頗ル古代ノ建築ナリト傳
フレドモ、近世ノ考古學者ハ多ク西曆十六世紀前後ニ成レルモノト定ム、嘗
テ印度教徒ノ造營シタルモノナレド、後回教王ノ迦濕密羅ヲ領スルヤ、變ジ
テ回教寺院トナリ、現今印度教王ノ君臨セルヨリ、再ビ轉ジテ印度教寺トナ
レリト云フ、丘頂ハ眺望絶佳、迦濕密羅城ハ脚下ニ俯觀スベク、見えるむノ長
江だるノ大湖、及ビ湖畔幾多ノ勝地ハ、凡テ雙眸ノ中ニ収ムベシ、